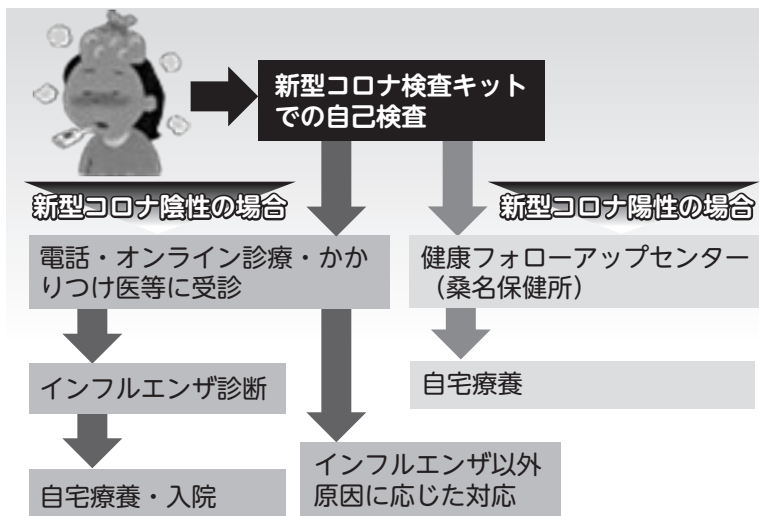


～新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザ同時流行に備えて～ 「発熱等の症状のある方の相談・受診の流れ」

この冬は新型コロナウイルス感染症が今夏以上に拡大し季節性インフルエンザと同時に流行する可能性があります。

- ※迷ったときは受診・相談センター等に電話相談。
- ※重症化リスクが高い方（高齢者、基礎疾患がある方、妊婦）、小学生以下の子どもと保護者の方、または症状が重いと感じる場合は、発熱外来・かかりつけ医等に相談。
- ※発熱外来を速やかに受診できない場合に備えて、自身で感染確認に必要な新型コロナ抗原検査キットや、自宅療養に必要な解熱鎮痛薬を、あらかじめ買っておく。
- 新型コロナワクチンの早期接種をお願いいたします。
- 季節性インフルエンザワクチンについては、65歳以上の方等の定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)



12月1日は「世界エイズデー」です 「このまちで暮らしている。私もあなたも。12月1日は世界エイズデー」

世界エイズデー（World AIDS Day）は蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

治療法の進歩によりHIV陽性者の予後が改善された結果、HIV陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、治療を継続して体内のウイルス量が減少すれば、HIVに感染している人からほかの人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。

・エイズとは

エイズはHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによっておこる病気ですが、HIV感染＝エイズということではありません。HIVに感染後、自覚症状のない時期（無症候期）が数年続き、さらに進行すると、免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気などを発症するようになってしまいます。発症する疾患のうち、代表的な23の指標となる疾患が決められており、これらを発症した時点でエイズ発症と診断されます。

現在は様々な治療薬が出ており、きちんと服薬することでエイズ発症を予防することが可能になっています。

・HIVの感染経路

① 性行為による感染

最も多い感染経路です。HIVは主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれ、その性行為の相手の性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通して感染します。性行為におけるコンドームの正しい使用は、HIV感染症・エイズ予防にとって有効な手段です。

② 血液を介しての感染

覚せい剤など依存性薬物の“回し打ち”による注射

器具の共用やHIVが存在する血液の輸血などによって感染します。日本では現在献血された血液は厳重な検査により最高水準の安全が確保されていますが、極めて稀に感染する可能性があります。

③ 母子感染

母親がHIVに感染している場合、妊娠中や出産時に赤ちゃんに感染することがあります。母乳による感染の例もあります。日本では、母親がHIV感染症の治療薬を飲むことや母乳を与えないことで、赤ちゃんへの感染を1%以下に抑えることができます。

・レッドリボン

“レッドリボン”は、エイズに苦しむ人々の理解と支援の意思を示し、エイズに関して偏見を持っていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージを表しています。

治療の進歩でHIV陽性者の生活は大きく変わり、HIV感染の予防にもその進歩に支えられた様々な選択肢が用意されるようになりました。しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、HIV感染を心配する人たちを検査や治療から遠ざけ、また、差別や偏見を招く要因の一つになっているともいわれています。

この機会に、HIV・エイズに関する検査や治療、支援など正しい知識を身につけましょう。

- ・令和4年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ／API-Net エイズ予防情報ネット (jfp.or.jp)
- ・12月1日は「世界エイズデー」 (mhlw.go.jp) (厚生労働省)

